

五戸総合病院での研修を終えて

令和 7 年 2 月

十和田市立中央病院 研修医 江畑天彦

令和 7 年 2 月の 1 ヶ月間、五戸総合病院で研修させていただきました十和田市立中央病院研修医の江畑天彦です。この度は 1 ヶ月間という大変短い期間ではありましたが、地域医療研修として快く受け入れてくださり本当にありがとうございました。

研修内容としては、主に内科として外来業務、病棟業務を行ったほか、手術、夜間当直、訪問診療などを経験させていただきました。

外来診療では、**common disease** で通院されている患者さんの定期フォローや内服薬の調整から定期外で受診され入院加療が必要な患者さんまで、これまでの研修期間での救急外来とはまた違った貴重な体験をさせていただき、自分自身で問診、検査オーダーから入院が必要かどうかの判断、結果説明から処方まで一連の流れを経験することができました。

病棟管理では、内科疾患全般、心不全や肺炎などから他院からのリハビリ転院を経て施設や自宅へ退院していく方、終末期で緩和医療を行っている方など様々な患者さんへの対応を学ぶことができました。自身の研修病院では入院患者さんの治療方針や退院の目安、退院先の検討までを自分自身が担当医として決定していくという経験があまりなく、上級医がいる安心感というのがあったのですが、五戸総合病院では自分自身が主体となって病棟患者さんを受け持っていたため医師の責任の重大さを改めて実感させられました。その中で、同期や専攻医の先生に相談して治療方針を決定していく五戸病院での研修はこれから自身が専攻医として責任を負っていく際に非常に役に立つ貴重な経験だったと感じております。

慣れない環境、慣れない診療に戸惑いもあり、病棟のスタッフや外来スタッフには色々とお迷惑をおかけしてしまいましたが、沢山の方に助けていただきなんとか 4 週間を乗り切ることができました。短い間でしたが院長先生はじめ五戸総合病院のスタッフの皆さん、そして外科専攻医の岩間先生、同期の研修医 2 人には大変お世話になりました。五戸総合病院で経験したことを今後の医師としての人生に活かせるように今後とも精進していきたいと思います。ありがとうございました。